NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

第25期 報告書

平成30年1月1日 ▶ 平成30年12月31日



日本コンセプト株式会社

証券コード：9386

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第25期（平成30年１月１日から平成30年12月31日まで）における当社の取組み及び成果について、ご報告申し上げます。

当社は、平成29年５月にガス事業に新規参入、翌平成30年１月には兵庫県神戸市にもガス事業用の拠点として阪神支店を開設し、ガスタンクコンテナを活用したビジネスを推進しております。残念ながらガスの再生・破壊設備の当局認可が予定より遅れたため、昨年度のガス事業の出足はゆっくりとしたものになりましたが、着実に事業は伸びております。

また、タンクコンテナを利用した液体貨物事業は、環境に優しいビジネスであり、今後も拡大していくことが見込まれることから、ガス事業とあわせて日本の物流を変えるべく事業を拡大して参る所存です。

株主の皆様におかれましては、今後も何卒一層のご支援とご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成31年3月
代表取締役社長
松元　孝義

事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、設備投資や個人消費の回復基調が続きました。わが国の貿易については、年前半は、輸出、輸入共に好調を維持し対前年比で増加を記録しましたが、米中の通商問題などの影響を受けた世界経済の不安定さを反映し、年後半には輸出の伸びが低下しました。

海外経済においては、米国を中心に総じて底堅く推移したものの、後半からは米中の貿易摩擦問題の激化や欧州の政治情勢の不安定さを背景に中国および欧州経済が減速しました。

このような状況にもかかわらず、当社は独自の海外ネットワークを活かし、輸送量の増大とタンクコンテナオペレーション効率（稼働率）の向上を実現しました。また、フロンガスの再生・破壊業務に対する営業許可証の交付が予定より大幅に遅れる３月末となったことからガス関連の売上が限定されたものの、ガスタンクコンテナ事業の売上は236百万円（前年は22百万円）となりました。また、当社の支店を活用した国内ワンウェイ輸送や保管等の附帯サービスにかかる売上を伸ばしたことなどにより、当連結会計年度における売上高は、前年を460百万円上回る12,165百万円となりました。

営業利益については、将来を見据えた設備投資を継続し

日本コンセプト株式会社　経営理念

1．わたしたちは、効率的な国際物流システムを構築・運営することにより、
　世界中のお客様に貢献します。
2．わたしたちは、きめ細かい高品質のサービスをお客様に提供します。
3．わたしたちは、働く厳しさと喜びを共有し、
　国際物流のプロフェッショナル集団となることを目指します。
4．わたしたちは、公共性・信頼性・国際性を備え、社会に誇り得る会社となることを目指します。

ていることから減価償却費が増加したものの、タンクコンテナを効率的に運用することにより売上原価の伸びを抑えたことから、前年比73百万円増の1,939百万円となりました。また、経常利益は1,914百万円を確保いたしました。この結果、法人税等差引後の親会社株主に帰属する当期純利益は1,346百万円を達成しております。

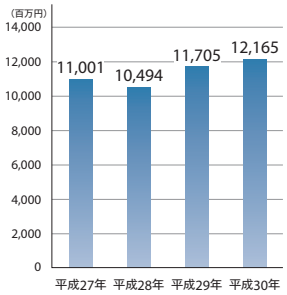
次期の業績見通しにつきましては、米中の貿易摩擦問題や英国のEU離脱問題など、世界経済の不安定要因が依然として解消されないことから、わが国を含めた世界貿易への悪影響が懸念され、当社の売上の主力である輸出入の荷動きにも影響が及ぶものと予測されます。

このような状況にもかかわらず、当社グループの強みとする海外ネットワークをフルに活用し、既存の主要顧客との取引の継続に加え、タンカーやドライコンテナを利用して貨物を輸送している顧客に対し、タンクコンテナへの切替えの営業活動を更に積極的に行い、新規顧客の開拓に注力して参ります。また国内輸送においては、タンクローリーによるオールトラックでの輸送から、タンクコンテナを利用して国内支店とトラック、鉄道、内航船を上手く繋いだワンウェイ複合一貫輸送への転換を推進することで、トラック不足と環境問題への対応を継続して参ります。

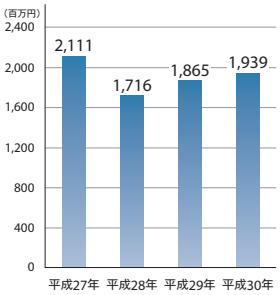
上記施策を実施することにより、当社グループの次期連結会計年度における業績見通しは、前提となる為替相場を１ドル109円00銭とした上で、売上高12,710百万円、営業利益1,985百万円、経常利益1,950百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,349百万円を予想しております。

財務ハイライト（連結）

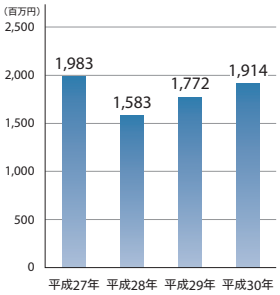
■売上高



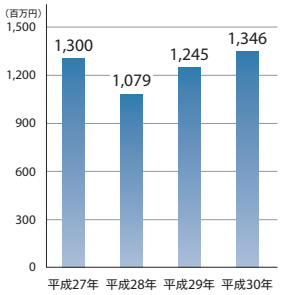
■営業利益



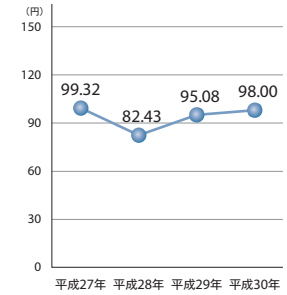
■経常利益



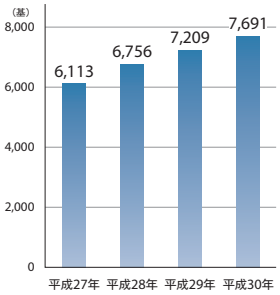
■親会社株主に帰属する当期純利益



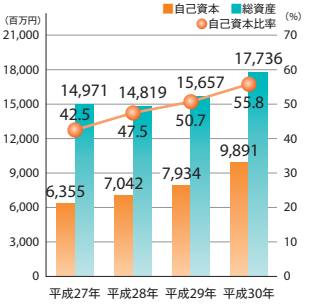
■1株当たり当期純利益



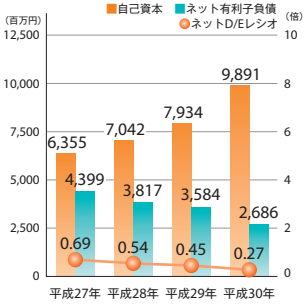
■タンクコンテナ保有基数



■自己資本比率



■ネットD／Eレシオ※



※ネットD／Eレシオ（倍）＝（有利子負債－現預金）÷自己資本 … 長期の支払能力（安全性）をはかる指標

TOPICS 01

米国現地法人のオフィス移転について

当社は、2012年２月に米国テキサス州ウッドランド市に100%子会社としてNIPPON CONCEPT AMERICA, LLC.を設立し、営業活動を行って参りました。一方、昨年２月に資本業務提携契約を締結した株式会社商船三井は米国において長きに亘って事業を行っており、テキサス州ヒューストン市にもオフィスを開設しております。

ウッドランド市はヒューストン市に隣接してはおりますが、より緊密に連携して業務を進めるため、NIPPON CONCEPT AMERICA LLC.は、２月25日に株式会社商船三井のグループ会社の入居するビルに移転し、同じフロアで業務を開始いたしました。これにより、米国においては、従来以上に緊密に連携して営業活動を拡大することができることとなったほか、効率的な事務を行う体制が整いました。



Suite 2950
1330 Post Oak Boulevard
Houston, Texas 77056
TEL: +1 832 813 8896
FAX: +1 281 719 8844



TOPICS 02

ガス事業の拡大について



当社は、ガス事業に関連する新しいビジネスモデルを独自に考案し、それを実現するための施設を千葉県富津市にある京葉臨海支店に構築、平成29年５月にガス事業に新規参入いたしました。平成30年１月には、西日本地区をカバーするため兵庫県神戸市に阪神支店を開設する一方、同年３月には京葉臨海支店に完成した設備の当局認可を得て、フロンガスの再生・回収事業をスタートしております。

今般、西日本地区でフロンガスの再生・破壊事業をスタートするための設備を阪神支店に新たに構築するほか、手狭となった京葉臨海支店の設備を拡張することとなりました。いずれの設備も今秋には完成する予定であり、今後、ガス事業の更なる拡大に寄与することが見込まれます。

連結業績推移

区　分		第22期（平成27年12月期）	第23期（平成28年12月期）	第24期（平成29年12月期）	第25期（平成30年12月期）
売上高	（百万円）	11,001	10,494	11,705	**12,165**
売上総利益	（百万円）	3,397	3,019	3,248	**3,398**
営業利益	（百万円）	2,111	1,716	1,865	**1,939**
経常利益	（百万円）	1,983	1,583	1,772	**1,914**
親会社株主に帰属する当期純利益	（百万円）	1,300	1,079	1,245	**1,346**
純資産	（百万円）	6,355	7,042	7,934	**9,891**
総資産	（百万円）	14,971	14,819	15,657	**17,736**
１株当たり純資産額	（円）	485.25	537.72	605.79	**713.24**
１株当たり当期純利益	（円）	99.32	82.43	95.08	**98.00**
自己資本比率	（%）	42.5	47.5	50.7	**55.8**
自己資本当期純利益率	（%）	22.0	16.1	16.6	**15.1**
営業活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	2,061	1,945	2,102	**2,034**
投資活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△ 697	△ 678	△ 1,490	**△ 516**
フリーキャッシュ・フロー	（百万円）	1,363	1,267	611	**1,517**
財務活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△ 1,186	△ 1,176	△ 1,042	**△ 166**

（注）当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いましたが、第22期（平成27年12月期）の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科　目	第24期（平成29年12月31日）	第25期（平成30年12月31日）	増　減
【資産の部】			
流動資産 (※1)	4,164	5,744	1,580
現金及び預金	2,492	3,772	1,280
売掛金	1,330	1,413	83
その他	342	558	216
貸倒引当金	△1	△0	0
固定資産 (※2)	11,493	11,992	498
有形固定資産	11,068	11,482	413
建物及び構築物（純額）	1,236	1,564	327
機械装置及び運搬具（純額）	273	340	67
タンクコンテナ（純額）	6,890	7,302	412
土地	2,195	2,195	—
建設仮勘定	440	44	△395
その他	32	33	1
無形固定資産	229	295	65
投資その他の資産	194	214	19
資産合計	15,657	17,736	2,079

（単位：百万円）

科　目	第24期（平成29年12月31日）	第25期（平成30年12月31日）	増　減
【負債の部】			
流動負債 (※3)	3,332	2,993	△338
買掛金	879	775	△103
短期借入金	420	152	△268
1年内返済予定の長期借入金	974	983	8
リース債務	422	393	△29
未払法人税等	321	347	25
その他	314	342	27
固定負債 (※4)	4,390	4,852	461
長期借入金	2,869	2,656	△212
リース債務	1,375	1,967	592
その他	146	228	81
負債合計	7,723	7,845	122
【純資産の部】			
株主資本	7,875	9,886	2,011
資本金	600	1,134	534
資本剰余金	526	1,060	534
利益剰余金	6,748	7,690	942
自己株式	△0	△0	—
その他の包括利益累計額	59	5	△54
純資産合計 (※5)	7,934	9,891	1,956
負債純資産合計	15,657	17,736	2,079

※1　流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,580百万円増加（38.0%増）し、5,744百万円となりました。現金及び預金が1,280百万円、売掛金が83百万円、その他流動資産が216百万円増加したことが主な要因です。

※2　固定資産は、前連結会計年度末に比べ498百万円増加（4.3%増）し、11,992百万円となりました。1月に阪神支店が完成したことや発注したタンクコンテナが納入されたこと等に伴い建設仮勘定が395百万円減少する一方、建物及び構築物（純額）が327百万円、機械装置及び運搬具（純額）が67百万円、タンクコンテナ（純額）が412百万円増加したほか、無形固定資産が65百万円、投資その他の資産が19百万円増加したことが主な要因です。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2,079百万円増加（13.3%増）し、17,736百万円となりました。

※3　流動負債は、前連結会計年度末に比べ338百万円減少（10.2%減）し、2,993百万円となりました。未払法人税等が25百万円、その他流動負債が27百万円増加したものの、買掛金が103百万円、短期借入金が268百万円、リース債務が29百万円減少したことが主な要因です。

※4　固定負債は、前連結会計年度末に比べ461百万円増加（10.5%増）し、4,852百万円となりました。長期借入金が212百万円減少したものの、リース債務が592百万円、その他固定負債が81百万円増加したことが主な要因です。

※5　純資産は、前連結会計年度末に比べ1,956百万円増加（24.7%増）し、9,891百万円となりました。為替換算調整勘定が54百万円減少したものの、第三者割当による新株発行を実施したため、資本金と資本剰余金がそれぞれ534百万円増加したうえ、利益剰余金が942百万円増加したことが主な要因です。

連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科　目	第24期 平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで	第25期 平成30年1月1日から 平成30年12月31日まで	増　減
売上高 (※6)	**11,705**	**12,165**	**460**
売上原価	**8,456**	**8,767**	**311**
売上総利益	**3,248**	**3,398**	**149**
販売費及び一般管理費	**1,383**	**1,459**	**76**
営業利益	**1,865**	**1,939**	**73**
営業外収益	32	55	23
営業外費用	125	80	△ 44
経常利益 (※7)	**1,772**	**1,914**	**142**
特別利益	—	0	0
特別損失	4	1	△ 2
税金等調整前当期純利益	**1,767**	**1,912**	**145**
法人税等	522	565	43
当期純利益	**1,245**	**1,346**	**101**
親会社株主に帰属する当期純利益	**1,245**	**1,346**	**101**

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

科　目	第24期 平成29年1月1日から 平成29年12月31日まで	第25期 平成30年1月1日から 平成30年12月31日まで	増　減
営業活動による キャッシュ・フロー (※8)	2,102	2,034	△ 68
投資活動による キャッシュ・フロー (※9)	△ 1,490	△ 516	973
フリーキャッシュ・フロー	611	1,517	905
財務活動による キャッシュ・フロー (※10)	△ 1,042	△ 166	876
現金及び現金同等物に係る 換算差額	14	△ 33	△ 48
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△ 416	1,317	1,733
現金及び現金同等物の 期首残高	2,564	2,148	△ 416
現金及び現金同等物の 期末残高	2,148	3,466	1,317

連結株主資本等変動計算書（要約）　第25期（平成30年1月1日から平成30年12月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
平成30年1月1日残高	**600**	**526**	**6,748**	**△ 0**	**7,875**	**△ 0**	**60**	**59**	**7,934**
連結会計年度中の変動額									
新株の発行	534	534			1,068				1,068
剰余金の配当			△ 404		△ 404				△ 404
親会社株主に帰属する当期純利益			1,346		1,346				1,346
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						△ 0	△ 54	△ 54	△ 54
連結会計年度中の変動額合計	**534**	**534**	**942**	**—**	**2,011**	**△ 0**	**△ 54**	**△ 54**	**1,956**
平成30年12月31日残高	**1,134**	**1,060**	**7,690**	**△ 0**	**9,886**	**△ 0**	**6**	**5**	**9,891**

※6　ガスタンクコンテナ事業の売上が236百万円（前年は22百万円）となったこと、また、当社の支店を活用した国内ワンウェイ輸送や保管等の附帯サービスにかかる売上を伸ばしたことなどにより、当連結会計年度における売上高は、前年を460百万円上回る12,165百万円となりました。

※7　将来を見据えた設備投資を継続していることから減価償却費が増加したものの、タンクコンテナを効率的に運用することにより売上原価の伸びを抑えたことから、経常利益は前年を142百万円上回る1,914百万円を確保いたしました。

※8　営業活動の結果得られた資金は、2,034百万円（前期は2,102百万円の収入）となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前当期純利益1,912百万円と減価償却費1,007百万円であり、売上債権の増額114百万円と法人税等の支払額569百万円が主な減少要因です。

※9　投資活動の結果使用した資金は、516百万円（前期は1,490百万円の支出）となりました。主な資金の減少要因は、有形固定資産の取得による支出474百万円、及び無形固定資産の取得による支出68百万円です。

※10　財務活動の結果支出した資金は、166百万円（前期は1,042百万円の支出）となりました。主な資金の増加要因は、長期借入れによる収入842百万円と株式発行による収入1,068百万円であり、主な資金の減少要因は、短期借入金の純減額268百万円、長期借入金の返済による支出1,046百万円、リース債務の返済による支出344百万円、及び配当金の支払額402百万円です。

■ 会社の概要

社名	日本コンセプト株式会社
設立	平成6年1月
資本金	11億34百万円
従業員数	184名（連結）
業種	ISOタンクコンテナを用いた総合物流業
事業内容	化学品、及び各種ガスの国際複合一貫輸送 液体貨物の保管、加温、他の輸送容器との積替 フロンガスの回収、再生、破壊 ケミカルタンクコンテナの洗浄、メンテナンス ガスタンクコンテナの保管、検査
取引銀行	三菱ＵＦＪ銀行、三井住友銀行、 みずほ銀行、商工組合中央金庫、 日本政策金融公庫、その他

■ グループ会社

NIPPON CONCEPT SINGAPORE PTE. LTD.
NIPPON CONCEPT MALAYSIA SDN. BHD.
EURO-CONCEPT B.V.
NICHICON EUROPE B.V.
NICHICON UK LIMITED.
NIPPON CONCEPT AMERICA, LLC.

■ 主な事業所所在地（平成31年3月29日現在）

本社	東京都千代田区内幸町二丁目2番2号 富国生命ビル8階
京浜支店	神奈川県川崎市川崎区浮島町12番8号
京葉臨海支店	千葉県富津市新富101番5
中部支店 中部営業所	三重県四日市市高浜新町1257番2号
神戸支店 神戸営業所	兵庫県神戸市中央区港島八丁目11番6号
阪神支店 阪神営業所	兵庫県神戸市中央区港島八丁目11番6号 （平成30年1月新設）
水島支店 水島営業所	岡山県倉敷市玉島乙島7471番252号
徳山支店 徳山営業所	山口県下松市葉山一丁目819番13号
新潟出張所	新潟県新潟市東区船江町一丁目55番30号

■ 役員（平成31年3月29日現在）

代表取締役社長	松元　孝義	社外取締役	桜田　治
取締役副社長	山中　康利	取締役監査等委員	樋川　浩造
常務取締役	若園　三記生	社外取締役監査等委員	有賀　隆之
取締役	岩崎　祐世	社外取締役監査等委員	相浦　義則
取締役	河村　信三	社外取締役監査等委員	関　常芳

■ 株式の状況

発行可能株式総数	46,992,000 株
発行済株式総数	13,868,500 株
株主数	12,599 名

上位10名の株主の状況

株主名	持株数（株）
松元　孝義	2,930,500
株式会社商船三井	2,080,300
山中　康利	1,338,800
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	771,500
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	645,000
有限会社エスアンドアール	600,000
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	408,100
蓮見　正純	300,000
株式会社三菱UFJ銀行	300,000
株式会社三井住友銀行	300,000
有限会社エムアンドエム	300,000

■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
単元株式数	100株
基準日	12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部
上場取引所	東京証券取引所　市場第一部
証券コード	9386
公告方法	当社の公告方法は、電子公告としております。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりであります。 http://www.n-concept.co.jp/

（ご注意）
1．住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
　株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
　なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申し出ください。
2．未払配当金の支払いについて
　株主名簿管理人である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申し出ください。

VEGETABLE OIL INK
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915